第2回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成23年4月27日（水）

場 所：本部棟3階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、大平栄子学長補佐、
阿毛久芳研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長、牛山恵国文学科長代理、儀部直樹英文学科長
進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長、杉本光司地域交流研究センター長、
稲垣孝博外国語教育研究センター長、重原達也学生課長、相川泰総務課長

欠席者：田中一利理事、清水雅彦学長補佐

■挨拶

加藤学長よりあいさつ

議 事

1. 学長選考会議委員の選出について

○担当より説明、三名連記にて投票により学長選考会議委員3名を選出。

学長選考会議委員決定者 鶴田清司、清水雅彦、新保祐司（次点：大辻千恵子）

2. 公立大学法人都留文科大学「中期計画」平成23年度「年度計画」（案）について

○担当より主に変更箇所について説明、一部修正し承認。

・P3【30】平成23年度計画の文章中の「カリキュラム検討委員会」を「カリキュラム改定委員会」に訂正。

・P8【92】平成23年度計画の文章中の「教員採用計画」を「教員配置計画」に訂正。

・P9【101】の平成23年度計画の文章中の「改組」を削除。

*その他に意見・修正等がある場合は4/28のお昼までに事務局へ報告。

3. 平成24年度学外研究予定者（案）について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

4. 平成24年度教員配置について

○担当より説明。

4/26(火)に各採用要望学科及びセンター長と個別ヒアリングを行った。個別ヒアリングの結果に基づき理事4人(学長・事務局長・両副学長)と話し合い人事配置の第1案を提案。

・教育方法学及び国語学については、できる限り可能な限り早く公募要項を作成し、学長と相談の上教育研究審議会へ提出。

・臨床教育・物理学・数学・国文学・英文学については、プロジェクトB及びCへ提出し、しっかり説明をした上合意をとり、早くゴーサインが出て公募要項を作成し、教育研究審議会へ提出する作

業に入りたい。

- 外国語教育研究センターについては、特任教員での採用で対応してもらおう。
- 地方自治論については、環境・コミュニティ創造専攻が4年間終了し、社会学科による総括が行われるので、総括に基づいて提出される計画を待って検討に入りたい（その中で地方自治論がどういう位置づけなのか）。
- 教員配置について、各学科からの要望に対して各学科長やセンター長との合同ヒアリングが行われなかった。合同ヒアリングの趣旨は、全学的な意見を形成することなので、今回は横の繋がりでの意見交換がなく、結果的には全学的な意見としては不十分であった。横の繋がりでの意見交換のできる機会を設けて欲しい。
- 学長から発案された教員配置案を個別ヒアリングの経過も踏まえた文章化した提案書を出していただき、決定経過が分からないのでそれをもとに教育研究審議会で審議すべきでないか。
- 資料4-2について「平成24年度教員配置に関する原則（案）」を「平成24年度教員配置に関する原則（指針）」に修正し承認。この原則については、平成24年度の人事のため作成したが、合意が得られればそれ以降も指針として使用していく。

5. プロジェクト構想（案）について

次回の教育研究審議会にて審議。